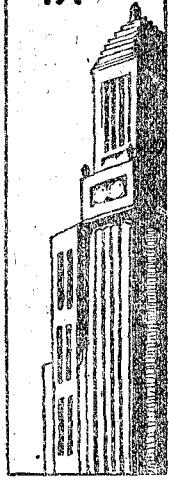


路政春秋



注意

本欄は讀者諸君の利用に提供す、治安と風俗とを害し又は人身攻撃に涉らざる限り奇想天外的の寄稿を望む、一文は四百字位にて取捨は編輯子に一任、原稿は道路の改良編輯部宛のこと。

道路橋梁の重要性和豫算の調定

例年の如く明十六年度國庫豫算の編成時季となつて財務當局では可成經費の節約を圖るの目標から新規豫算は國防上の見地からは是非とも必要である事業費でなき限り削減を加へ徹夜を重ね體力の衰弱をも厭はず査定を作成す、之れに對し關係各省では徹宵之が復活を策する、現に本省土木局道路課員あたりでは幾夜も徹夜復活の準備の爲めの命令を待期する、餘所の目も氣の毒とも同情に堪えない次第である。何とか病人をも出さずに適正な豫算が編成せらるゝ方法はなきものにや、尤も地方でも道路橋梁

費の減少の爲めに之が復活には中々當局者は骨が折れる状態であるが關東の某縣の如きでは土木費が國狀に照らして少額に失するとして、新聞が之を論じて積極的議員の應援を爲すものもあつた。曰く非常時議員の國家方針が生活必需品を第二とし直接戰時資料を第一として優先的に編成されることは當然であつて何人もこの嚴然たる事實に對して異論を稱ふるものはない。然しながら地方に於ては食料薪炭其の他生活必需品に對する供出といふ不可缺の國民的義務が否責任が生産者の双肩にかかゝつて居る山間僻地に於ては一本の橋梁、一線の道路の持つ意義が極めて重大にして其の破損によりて迂曲或は中斷する努力の倍加或は三倍

がさられだに不足せる努力上の一大痛打となるばかりでなく供出運営に影響すること至大にして延いては之が國策への障害ともなるのであると事の實際に即して道路橋梁の重要性に立脚して論述して居る、吾人双手を擧げて賛成を叫ぶに吝かならざるものである。(涸沼生)

自由主義者頭目に此 先見あり

新體制の時局下に於て家族制度を尊重して其の建前に基き民法、戸籍法其他の法規に再検討を加ふる事となつて選舉法の如き戸主選舉制に改めんとする意見が強調せらるる、今より六十年前自由主義の政黨を創

立し其の首領となつて國政に輔翼の生涯を
 さまげた伯爵板垣退助翁は三十有餘年前既
 に已に家長選舉制を提唱しておる曰く予は
 代議政體の精神と我邦の國情に鑑みて、制
 限選舉並に普通選舉に於ける弊害を除き、
 眞に我邦憲政の健全なる發展を遂げしめん
 が爲めに、戸主選舉法を提唱せざるを得な
 い。抑も戸主選舉法とは大凡日本國民にし
 て一家を經營し、獨立の生活を爲す所の戸
 主即ち家長は資産の有無と男女の別を問は
 ず、總て一律平等に選舉權を有する所の制
 度にして之を謂つて家長選舉法と爲すも亦
 妨げず云々と一代華族制を論じ日本は侵略
 國にあらずと斷じ、板垣死すとも自由は亡
 びずと叫んだ自由主義者の頭目板垣翁は實
 に此の先見の明を有せられた、眞に愛國の
 政治家の面目ありと謂ふべし矣(白洋生)

道路の愛護は産業 報國の一路

「職域奉公」とは道路改良會長水野博士の
 書せられる扁額の四字で寔に名句である。
 交通施設の完備は地方産業興隆の根基を爲
 すものであるが、地方團體の道路愛護作業
 は近時物産増産は産業報告後國民の重大
 責務なりとの觀念が旺盛となつたため鳥取
 縣下市町村道路愛護團體の活動は事變前に
 も増して頗る活潑となつたのは統後國民の
 自覺によるもので喜ばしき限である、特に
 八頭郡の如きは其の成績最も優秀で既往一
 ケ年間に於ては奉仕團體二十九、人員延四
 萬三千餘人を算すると報せらる、各地とも
 斯くありたきものである。

農村の娛樂は道路 愛護から

「農村の娛樂はかゝる緊縛した時代には、
 かへつて必要であると思ふが實際は其の餘
 裕があるまい。無理をして農村娛樂等とい
 つてもなかく續くものでない。娛樂は多

く青年向のものであるが現在の農村青年は
 いかにも娛樂するかといふよりも、纒かの時
 間を見つけて如何に勉強するかを考ふべき
 であつて娛樂は第二第三の問題である」と
 結城氏は論じて居るが現今の國情は農村と
 いはず都會といはず舊體制的の演劇や映畫や
 紙芝居などで娛樂の爲娛樂を以てすべきで
 ない。特に農村の純眞な青年、眞劍味を缺
 かない農村の青年には職域奉公を樂しむべ
 く尤も適當である、夫れは道路愛護事業こ
 そが第一である。之が物的にも精神的にも
 案に尙ぶべき娛樂と謂ふべきであるとは某
 村長の意見賛成せざるを得ない。

技術の公開は公益 優先の實踐

産業新體制の精神を發揮し公益優先を實
 踐するの方策として技術を公開すべきであ
 る、少しの油斷も許されなない世界的技術の
 水準の飛躍的發展上好まじきことである。

之れに關し東日紙の所論を見るに——技術水準を急速度に高めるために技術の公開が此の際、何よりも必要であることは何人も認めるのであるが、さてその實行となると、なか／＼抄どらない。ところへ、最近たま／＼日東紡が優良スフ製造の秘傳を同業者に公開したと傳へられる。まことに空谷に跫足を聞くの感がある。この風がたゞに輕工業の一部に止まらず、廣く機械工業や化學工業凡ゆる産業方面にも普及することを希望するのである。もしこれ等の技術公開が産業の各部門において廣く行はれば、恐らく一、二年にしてわが技術水準は非常に高まるであらう。

少し極端にいへば今日は技術の時代である。優秀な兵器が戦勝の一原因であることはいふを俟たない。高度國防の充實といふも、生産力擴充といふも、畢竟するところは精密にして高度な技術を十二分に發揮せ

しめる謂に外ならぬ。しかも、今日の機械文化は、各種各様の技術の集積であるから凡そ一兵器の發達にも、基礎的には各方面の高度技術が有機的に結合せられねばならない。それがためには關係者間に技術の公開秘傳の交換が大に行はなければならぬが、また技術の發達からいつても、それは相互に切差琢磨の間に期し得られるのであつて、さういふやうに籠城する研究室や、角突き合して營利を争ふ事業會社同士の間には大した期待をかけることは出来ないのである。ところが、實際の有様は狭量な割據主が義至るところに横行してゐるので、その結果、産業全般の能力を如何に低め製品の質の向上を如何に阻害し、物價を如何に高めてゐるか判らない。スフだけでないのである。——云々と實に以て時局梟卓見である。

明年度豫算に新規道路費はどう計上されるか？

國道改修費

- 一、静岡——濱松間、總額七百卅萬圓（八ヶ年）
- 一、岡山縣倉敷——廣島縣三原間、八百萬圓（八ヶ年）
- 一、茨城縣土浦——常陸間、九百廿七萬圓（九ヶ年）
- 一、福井縣武生——武士井間、二百八十六萬圓（六ヶ年）
- 一、横須賀市内田浦町——深田町間、五百廿五萬圓（六ヶ年）
- 一、横濱市内、四百萬圓（四ヶ年）